

令和元年度 加茂市行財政健全化の取り組み

企画財政課資料

令和元年度削減額

【歳出】

(単位：千円)

款	内容	現状	改善策	R1一般財源	備考	
	全体的事項	県内日当廃止	1,000円/1回	廃止	約1,000	
2	総務費	自治大学校派遣縮減	年2人	隔年1人(令和元年度は0人)	1,096	
		市長等特別職報酬削減		市長△15%、副市長△10%、教育長△5%	2,111	年額3,341
		市長交際費縮減	2,850千円	1,500千円	1,350	
		職員永年勤続表彰記念品廃止		職員互助会で負担	103	
		広報誌印刷費縮減	事業費15,000千円	事業費13,500千円	1,500	
3	民生費	敬老会の廃止	事業費13,120千円	敬老会を廃止し、88・100歳に記念品配付	11,120	
4	衛生費	インフルエンザ予防接種助成縮減	65歳以上老人 自己負担金無料	自己負担金徴収@1,650円	9,240	
			13歳未満の1回目助成	1回につき1,500円を2回助成	1,896	
		健康カレンダー廃止	全世帯配付	廃止。ホームページや広報でお知らせ	1,050	国保会計影響額1,144
6	農林水産業費	林道改良(県補助)休止	小皆川線・麻布谷黒水線	休止	1,140	
		林道舗装(市単独)休止	猿毛線	休止	300	
7	商工費	大島訪問旅費補助縮減	25人分旅費全額補助(令和元年度～)	補助額上限3万円(1人当たり)	825	
8	土木費	道路新設改良費単独分休止		休止	10,000	
		水路改良費単独分休止		休止	5,000	
		へらブナ下条川ダム放流休止	1.2t×@1,100円	休止	1,320	
		若宮公園整備事業縮小・完了	事業費30,000千円	事業費を10,000千円に縮小した上で、今年度で完了。	1,000	将来影響額7,000
10	教育費	小中学校体育館冷暖房設備設置中止	事業費420,000千円	中止	0	将来影響額126,000
		石川小非常階段改修中止	事業費15,050千円	中止	1,000	将来影響額3,000
		元旦マラソン無料化廃止	補助金200千円(令和元年度～)	廃止	200	
		冬鳥越スキーガーデン花時計植栽縮減	事業費1,200千円(年3回植栽)	事業費800千円(年2回植栽)	400	
合計				50,651	*将来影響額計136,000	

健全化の取り組みで削減した一般財源50,651千円は財政調整基金に積み立て
備考欄*将来影響額136,000千円は、借入の市負担分

市税・交付税・臨時財政対策債及び貯金残高の推移

(単位：千円)

年度	～4月森 4月～小泉	小泉					～9月小泉 9月～安倍	～9月安倍 9月～福田	～9月福田 9月～麻生	～9月麻生 9月～鳩山	～6月鳩山 6月～菅	～9月菅 9月～野田	～12月野田 12月～安倍	安倍～					
	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30見込	
市税	2,936,036	2,878,369	2,746,622	2,766,626	2,715,821	2,776,695	3,021,984	3,045,306	2,928,783	2,865,222	2,825,174	2,820,188	2,806,299	2,807,266	2,685,506	2,767,459	2,657,396	2,609,441	
(前年比)	△ 83,681	△ 57,667	△ 131,747	20,004	△ 50,805	60,874	245,289	23,322	△ 116,523	△ 63,561	△ 40,048	△ 4,986	△ 13,889	967	△ 121,760	81,953	△ 110,063	△ 47,955	
地方交付税 (臨時債含む)	4,744,748	4,774,708	4,848,209	4,357,899	4,167,072	3,930,112	3,745,127	3,965,934	4,042,041	4,473,538	4,384,302	4,331,210	4,312,090	4,234,945	4,411,553	4,284,575	4,198,783	4,225,897	
(前年比)	31,226	29,960	73,501	△ 490,310	△ 190,827	△ 236,960	△ 184,985	220,807	76,107	431,497	△ 89,236	△ 53,092	△ 19,120	△ 77,145	176,608	△ 126,978	△ 85,792	27,114	
貯金的基金残高 A	1,847,509	1,696,405	1,576,061	1,390,128	1,221,174	969,602	543,200	233,014	294,574	517,350	232,233	265,233	223,050	35,772	75,821	116,969	13,490	26,833	
土地開発基金 B	289,941	198,063	167,014	194,288	153,115	102,309	145,898	24,981	255,235	230,702	130,669	132,325	139,141	139,853	197,792	146,856	113,339	93,978	
宅造会計繰越金 C	136,997	92,044	108,864	102,497	111,602	147,144	147,872	153,959	155,199	20,477	21,753	23,134	23,811	26,261	74,944	75,731	76,647	77,328	
貯金残高 A+B+C	2,274,447	1,986,512	1,851,939	1,686,913	1,485,891	1,219,055	836,970	411,954	705,008	768,529	384,655	420,692	386,002	201,886	348,557	339,556	203,476	198,139	
(前年比)	△ 102,317	△ 287,935	△ 134,573	△ 165,026	△ 201,022	△ 266,836	△ 382,085	△ 425,016	293,054	63,521	△ 383,874	36,037	△ 34,690	△ 184,116	146,671	△ 9,001	△ 136,080	△ 5,337	

A の内 訳	財政調整基金	1,175,468	1,032,692	841,970	635,390	561,264	408,778	141,066	70,143	175,147	391,991	78,093	113,330	113,716	4,332	36,012	76,103	872	22,374
	その他	672,041	663,713	734,091	754,738	659,910	560,824	402,134	162,871	119,427	125,359	154,140	151,903	109,334	31,440	39,809	40,866	12,618	4,459

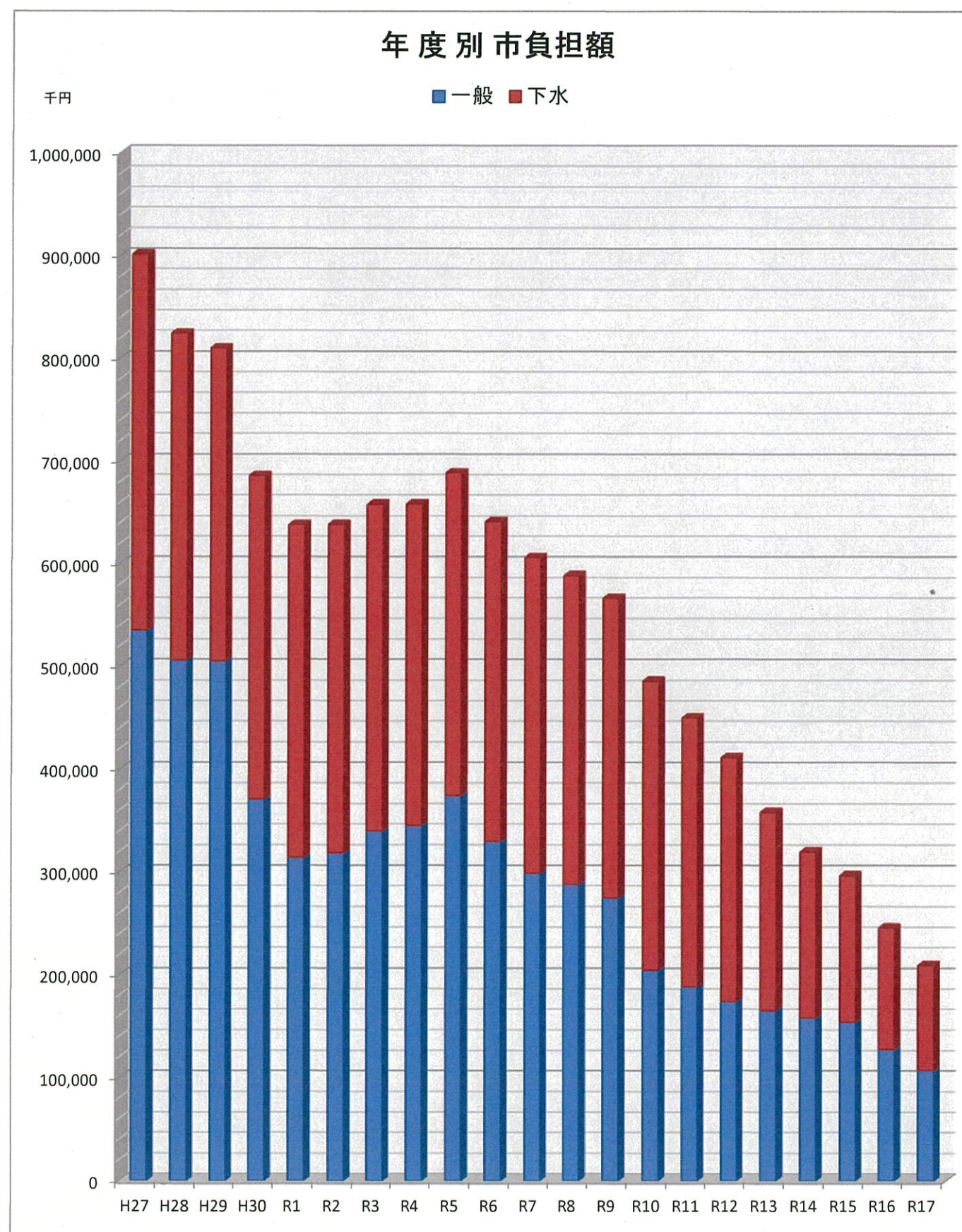
※ H13とH29の比較では、市税2億7,900万円、地方交付税(臨時財政対策債含む)5億4,600万円、計8億2,500万円減少

貯金的基金残高(A)のH13とH29の比較では、18億3,400万円、貯金残高(A+B+C)20億7,100万円減少

【年度別元利償還金一覧表】

(千円)

年度	元利償還金		特会繰出金	左のうち市負担額			前年度比
	一般	下水		合計	一般	下水	
H27	1,439,597	720,784	2,160,381	535,325	365,834	901,159	△ 96,261
H28	1,354,245	660,047	2,014,292	506,560	317,809	824,369	△ 76,790
H29	1,412,928	661,060	2,073,988	505,608	304,346	809,954	△ 14,415
H30	1,128,903	682,711	1,811,614	371,052	314,818	685,870	△ 124,084
R1	1,165,411	693,108	1,858,519	314,408	323,579	637,987	△ 47,883
R2	1,107,522	692,765	1,800,287	318,726	319,359	638,085	98
R3	1,061,693	693,324	1,755,017	340,021	317,820	657,841	19,756
R4	1,092,552	689,378	1,781,930	345,575	312,678	658,253	412
R5	1,097,387	698,157	1,795,544	374,625	313,777	688,402	30,149
R6	1,072,993	699,301	1,772,294	330,050	311,118	641,168	△ 47,234
R7	946,305	696,988	1,643,293	299,405	306,717	606,122	△ 35,046
R8	898,963	691,871	1,590,834	288,398	300,088	588,486	△ 17,636
R9	891,457	678,938	1,570,395	275,361	291,364	566,725	△ 21,761
R10	803,552	662,896	1,466,448	205,053	280,843	485,896	△ 80,829
R11	809,564	629,886	1,439,450	188,919	261,343	450,262	△ 35,634
R12	771,059	583,765	1,354,824	174,390	237,247	411,637	△ 38,625
R13	750,096	500,549	1,250,645	165,574	192,632	358,206	△ 53,431
R14	733,885	439,945	1,173,830	158,518	161,426	319,944	△ 38,262
R15	723,675	400,610	1,124,285	154,284	142,366	296,650	△ 23,294
R16	691,763	353,153	1,044,916	127,728	118,160	245,888	△ 50,762
R17	669,564	319,926	989,490	107,513	101,995	209,508	△ 36,380



※R1市負担額合計637,987千円は、H13市負担額合計1,048,465千円と比較し410,478千円の減

加茂市職員数の推移

各年4月1日現在

年 度	職員数 (人)	前年度比 増 減 数 (人) 【H13～】	増 減 数 累 計 (人) 【H13基準】	増 減 率 【H13基準】
平成 13 年度	332	—	—	0.0%
平成 14 年度	331	△ 1	△ 1	△ 0.3%
平成 15 年度	327	△ 4	△ 5	△ 1.5%
平成 16 年度	324	△ 3	△ 8	△ 2.4%
平成 17 年度	319	△ 5	△ 13	△ 3.9%
平成 18 年度	316	△ 3	△ 16	△ 4.8%
平成 19 年度	310	△ 6	△ 22	△ 6.6%
平成 20 年度	296	△ 14	△ 36	△ 10.8%
平成 21 年度	286	△ 10	△ 46	△ 13.9%
平成 22 年度	272	△ 14	△ 60	△ 18.1%
平成 23 年度	267	△ 5	△ 65	△ 19.6%
平成 24 年度	265	△ 2	△ 67	△ 20.2%
平成 25 年度	259	△ 6	△ 73	△ 22.0%
平成 26 年度	252	△ 7	△ 80	△ 24.1%
平成 27 年度	236	△ 16	△ 96	△ 28.9%
平成 28 年度	230	△ 6	△ 102	△ 30.7%
平成 29 年度	228	△ 2	△ 104	△ 31.3%
平成 30 年度	229	1	△ 103	△ 31.0%

令和元年度の収支不足について

1 当初予算 令和元年度末基金残高2億4千万円

主な補正予算

(1) 収入不足見込み

繰越金	1,500万円
普通交付税（臨時財政対策債含む）	3,900万円
	5,400万円 ①

(2) 支出見込み

特別職退職手当	4,200万円
一般職退職手当	9,700万円
国県補助金等返還金	6,000万円
除雪経費	3,000万円
その他補正	3,000万円
	2億5,900万円 ②

補正予算必要額

①+②= 3億1,300万円

基金残高に対し、補正予算で必要な金額が不足する見込みのため、加茂市行財政健全化の取り組みで節約した一般財源5千百万円を、財政調整基金に積立て使用する。

1 行財政健全化の目的

- (1) 人口減少などによる市税等収入の減少及び社会保障費等支出の増大による収支バランスの不均衡是正
- (2) 市民サービスの不均衡是正
- (3) 職員の組織改編による効率的な業務への是正

2 行財政健全化のスケジュール（予定）

月	会議名等	会議内容
8月	行財政健全化プロジェクトチーム編成	行財政健全化推進会議の下準備
9月	第1回行財政健全化推進会議 市民座談会	健全化計画の策定について
10月	第2回行財政健全化推進会議 有識者会議 パブリックコメント	健全化計画（素案）について
11月	第3回行財政健全化推進会議 市議会に報告及び市民説明会開催	健全化計画(案)について

3 今後の行財政健全化のポイント

- (1) 市役所の組織改編・定員適正化
- (2) 投資的経費の抑制
- (3) 施設の適正な配置と管理運営
- (4) 市単独補助金の見直し
- (5) 事務・事業の見直し
- (6) 自主財源の確保（税・使用料・広告料・命名権など）
- (7) 受益者負担の適正化

4 『財政計画』の策定

- (1) 市税や地方交付税交付金などの収入の範囲内で、各種事業・サービスを実施できるかを推計
- (2) 健全財政を維持するため、毎年見直し
- (3) 策定結果を毎年議会や市民に報告・公表